

平成19年度 予算概算要求の基本方針・ポイント

安全・安心を支え、活力ある地域の実現を目指して

中部地方では、昨年の「愛・地球博」の開催にあわせて中部国際空港の開港や東海環状自動車道の開通、また昨年末にはスーパー中枢港湾である名古屋港飛島ふ頭南地区第1バースの完成などをはじめとした様々な社会資本が整備されました。この社会資本の整備の効果が十分に発揮されたことにより、「愛・地球博」後も中部の経済活動は堅調に推移しており、日本の経済を支えているこの地方のものづくりの産業はますます重要度が増してきています。

また一方、環境をテーマにした「愛・地球博」の成功により、環境への意識が高まり、開催地域の責務として、日本の環境政策をリードすることが求められています。

しかしながら、平成12年の東海豪雨災害、平成16年の台風21、22、23号による甚大な被害、さらに今年7月の天竜川では本川堤防が決壊するなど、近年、水害や土砂災害が頻発しています。また東海、東南海・南海地震の発生が懸念されることや、高潮被害が想定される日本最大のゼロメートル地帯を有するなど、災害に対してはまだまだ脆弱な地域です。さらに、平成6年をはじめ、毎年のように渇水が発生しています。

このような状況の中、安全・安心な生活を確保しつつ、現在の元気な中部を持続、発展させるための社会資本整備を強力に推進していく必要があります。

そのため、平成15年に策定した「まんなかビジョン」の実現に向け着実に取り組んでいきます。

平成19年度は、これらビジョン等と社会情勢を勘案して、特に以下の基本方針を定め、重点的に推進していきます。

1. 基本方針

・安全・安心を支える国土基盤づくり

異常気象が多発している昨今の現状を鑑み、近年の災害に対する国土の脆弱性の克服を目指すとともに、頻発する渇水、発生が懸念される高潮災害や東海、東南海・南海地震にも対応し安全・安心を支える国土基盤づくりを推進します。

・「中部のげんき」を支える国土基盤づくり

現在の「中部のげんき」を持続、発展させるために不可欠な「陸・海・空」の拠点整備及び交通ネットワークの構築を推進し、中部のものづくり産業の国際競争力と地域間の交流・連携の強化を図ります。

・良好な環境、魅力ある暮らしを支える地域づくり

「自然の叡智」の理念のもと、健全な水・物質循環を構築するための自然再生を図るとともに、本来地域が持っていた原風景や美しい景観の保全及び環境対策を推進します。

豊かな生活と活力ある経済社会の構築を図り、都市の再生、少子高齢化社会への対応するため、中心市街地の空洞化や活力低下が進行している地域において、魅力ある暮らしを支える地域づくりを支援します。

生活に密着した社会資本の整備を進めることによって、中山間地域でも安心して生活できる環境を確保します。

平成19年度は、上記基本方針の推進とともに、以下の施策についても取り組んでいきます。

「選択と集中」の考えのもと、整備効果の高い事業に重点投資を行うとともに事業の完成目標を定め、厳しい事業進捗管理及びコスト管理を実践し事業を推進します。そのために、現在までの成果を維持、発展、更に確実なものにしていくための施策の推進と、社会資本整備重点計画（平成15～19年度）の最終年度である当該年度完成事業を総仕上げするための予算を確保し、重点投資を図ります。

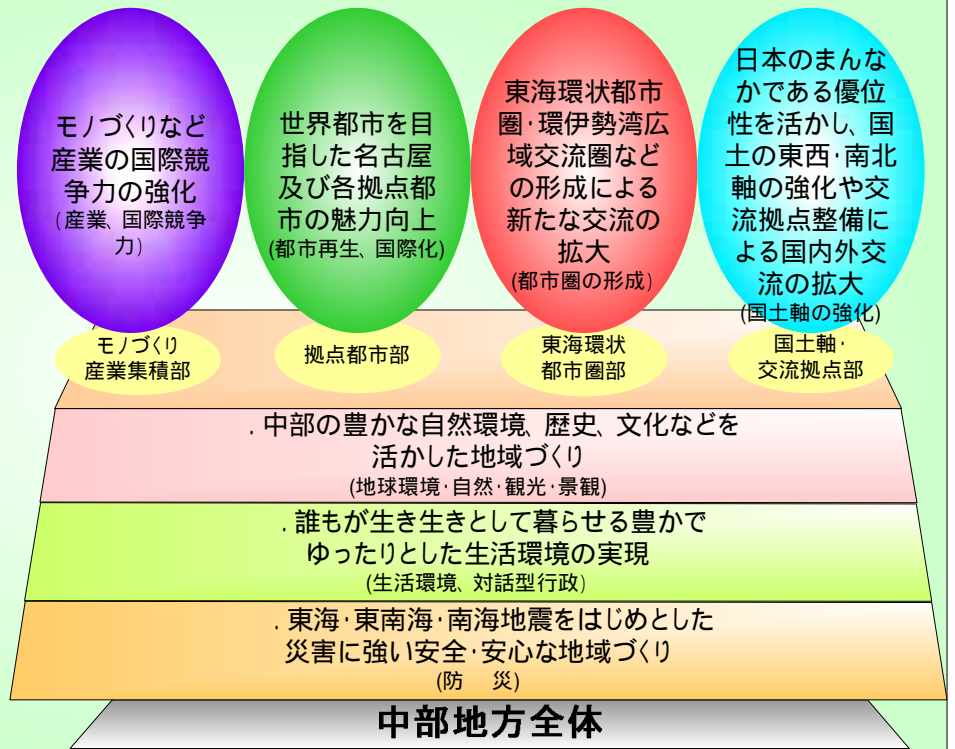
日本のものづくりの中心として、持続的な発展が可能な社会の形成に向けた、中・長期の国土・社会資本の将来ビジョンの策定を推進します。

事業の実施にあたっては、地域と協働でハード・ソフト両面から中部地方を支える社会資本整備に取り組むとともに、総合的なコスト縮減を図りながら公共工事の品質を確保するとともに入札契約制度の改革を推進します。

まんなかビジョン

「まんなかビジョン」の目的

「まんなかビジョン」は、中部地方において総合的かつ効率的な広域行政を目指し、国民本位、地域本意の地域づくりを実現するためのものです。今後の個別具体的な計画に対する指針として、概ね10～20年後の中部地方の将来像と地域づくりの7つの目指すべき方向、その実現に向けた具体的な目標、概ね平成19年度を目標に重点的に実施する各施策・事業をまとめた「当面取り組む18のプロジェクト(別紙参照)」を示しています。



平成19年度予算概算要求の基本方針 ～安全・安心を支え、活力ある地域の実現を目指して～

・安全・安心を支える国土基盤づくり

・「中部のげんき」を支える国土基盤づくり

・良好な環境、魅力ある暮らしを支える地域づくり



まんなかビジョン

H19年度 主要事業

7つの目指すべき方向

産業、国際競争力
モノづくりなど産業の国際競争力の強化

都市再生、国際化
世界都市を目指した名古屋及び
各拠点都市の魅力向上

都市圏の形成
東海環状都市圏・環伊勢湾広域交流圏などの
形成による新たな交流の拡大

国土軸の強化
日本のまんなかである優位性を活かし、
国土の東西・南北軸の強化や
交流拠点整備による国内外交流の拡大

地球環境、自然、観光、景観
中部の豊かな自然環境、歴史、
文化などを活かした地域づくり、観光振興

生活環境、対話型行政
誰もが生き生きとして暮らせる
豊かでゆったりとした生活環境の実現

防災
東海・東南海・南海地震をはじめとした
災害に強い安全・安心な地域づくり

【まんなかプロジェクト1】
名古屋港等国際競争力強化プロジェクト

【まんなかプロジェクト2】
中部国際空港競争力強化プロジェクト

【まんなかプロジェクト3】
特区制度を活用した産業活性化支援プロジェクト

【まんなかプロジェクト4】
名古屋にぎわい創出プロジェクト

【まんなかプロジェクト5】
名古屋都市圏交通リーディングプロジェクト

【まんなかプロジェクト6】
拠点市街地再生プロジェクト

【まんなかプロジェクト7】
東海環状ものづくり回廊プロジェクト

【まんなかプロジェクト8】
東海道・南北大交流プロジェクト

【まんなかプロジェクト9】
「愛・地球博」まち・ウエルカムプロジェクト **完了**

【まんなかプロジェクト10】
伊勢湾等再生プロジェクト

【まんなかプロジェクト11】
エコ・中部プロジェクト

【まんなかプロジェクト12】
歴史・文化・自然を活かした中部観光交流拡大プロジェクト

【まんなかプロジェクト13】
中部の豊かな住まいづくりプロジェクト

【まんなかプロジェクト14】
交通結節点ユニバーサルデザインプロジェクト

【まんなかプロジェクト15】
住民と協働した地域づくりプロジェクト

【まんなかプロジェクト16】
東海・東南海・南海地震等対策強化プロジェクト

【まんなかプロジェクト17】
風水害・湯水に強い地域づくりプロジェクト

【まんなかプロジェクト18】
防災情報提供等プロジェクト

・名古屋港飛島ふ頭南地区国際海上コンテナターミナル(-16m)
・田子の浦港中央地区多目的国際ターミナル(-12m)

・東海環状自動車道
・一般国道23号名豊道路

・三河港神野地区多目的国際ターミナル(-12m)

・名駅四丁目27番地区優良建築物等整備事業
・ささしまライブ24土地区画整理事業

・名古屋環状 号線
・名鉄名古屋本線(天白川～左京山)連続立体交差事業

・岐阜駅周辺地区
・静岡駅前紺屋町地区市街地再開発事業

・東海環状自動車道

・近畿自動車道紀勢線(尾鷲北IC～紀伊長島IC)
・一般国道1号静岡バイパス

・三河湾シーブルー事業
・天竜川ダム再編事業

・浜松地方合同庁舎
・名古屋港湾合同庁舎(別館)

・国営木曾三川公園 花卉園芸植物園(仮称)
・中部縦貫自動車道

・県営北方住宅公営住宅整備事業

・一般国道1号静岡駅前交通結節点改善事業

・まんなか懇談会、いきいきモニター、総合学習
・ボランティアサポートプログラム

・道路震災対策事業
・津松阪港海岸高潮対策事業

・宮川床上浸水対策特別事業
・徳山ダム建設事業、設楽ダム建設事業

・HPによる防災に係わる情報提供の推進
・ハザードマップの作成支援